

各学年の指導事項と授業時数の配当（第3・4学年）

学年	月	ページ	単元名	教材名	学習指導要領の内容		その他の指導事項	配当時数
					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
					(2)の事項	(1)の事項		
3	4	表2-P1 P2-3 P4-5 P6-7	1 毛筆のきほんを 知ろう	三年生から毛筆を使った学習が始まるよ 用具の使い方	ウ			適宜
				書くときのしせい	ウ			毛2
				筆の持ち方	ウ			毛1
				点画のしゅるい	ウ	ウ(ウ)		毛2～3
	5	P8-9 P10-13 P14-15	2 漢字の筆使いを たしかめよう	ほ先の向きとじくのかたむき／「横画」 「たて画」	ア・ウ	ウ(イ)		毛2
				手紙の書き方 〈国語〉	ア・イ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)	B(1)ウ・オ(2)エ	硬2
	6	P16-17 P18-19	2 漢字の筆使いを たしかめよう	「おれ」 力の入れ方	ア・ウ	ウ(イ)		毛2
				「左はらい」「右はらい」	ア・ウ	ウ(イ)		毛1
	9	P20-21 P22-23	2 漢字の筆使いを たしかめよう	「点」「曲がり」	ア・ウ	ウ(イ)		毛2
				「そり」	ウ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)		硬2(毛2)
	10	P24-25 P26-27	2 漢字の筆使いを たしかめよう		ア・ウ	ウ(イ)		毛2
					ウ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)		硬2(毛2)
	11	P28-29	3 平がなの筆使いを たしかめよう	丸み	ウ			毛2
		P30-31	4 漢字の組み立てを 知ろう	部分の組み立て方	ア	ウ(イ)(ウ)		硬1
	12	P32-33 P35-36	5 文字の配列を 考えよう	行の中心 横書き	ア・イ	ウ(イ)		毛2
		5 文字の配列を 考えよう	横書き	イ	ウ(ア)(イ)		硬2	
1-3	P36-39 P40-41	6 学習したことを 生かして書こう	書きぞめ 三年生のまとめ	ア・イ・ウ	イ(ウ), ウ(イ)		毛3～5	
		6 学習したことを 生かして書こう	書きぞめ	ア・イ・ウ	ウ(イ)		毛3	
適宜	P42-43 P44	しりょう	はがきの書き方／げんこう用紙の使い方 字形の整え方	ア・イ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)	B(1)ウ・オ(2)エ	適宜	
	P45		平がな／かたかな	ア	ウ(イ)			
	P46-47		一・二年生で学習した漢字	ア・ウ	ウ(イ)			
	P48-50		三年生で学習する漢字	ア・ウ	ウ(イ)			
	P55		「もっと知りたい」筆ができるまで	ウ				毛1
4	4	表2-P1 P2-3 P4-5 P6-7	1 筆順と字形の関係を 考えよう	書写で学習したことは、どんな場面で生かせる かな	ア・イ			適宜
				学習の進め方	ア・イ・ウ			適宜
				書くときのしせい／筆の持ち方	ウ			適宜
				点画の種類	ウ			適宜
	5	P8-9 P10	1 筆順と字形の関係を 考えよう	筆順と字形 1	ア・ウ	ウ(イ)		毛3～4
				筆順と字形 2	ア	ウ(イ)		硬1～2
	6	P11 P12-13	1 筆順と字形の関係を 考えよう	筆順と画の付き方 1	ア	ウ(イ)		硬1～2
				筆順と画の付き方 2	ア・ウ	ウ(イ)		毛2～3
	7	P14-15 P16-17	2 漢字の組み立てを 考えて書こう	部分の組み立て方 (左右)	ア・ウ	ウ(イ)(ウ)		毛3
				部分の組み立て方 (「かまえ」「たれ」)	ア・ウ	ウ(イ)(ウ)		毛2
	9	P18-19	2 漢字の組み立てを 考えて書こう	部分の組み立て方 (上下)	ア・ウ	ウ(イ)(ウ)		毛3
					ア・ウ	ウ(イ)(ウ)		毛3
	10	P20-21	3 平がなの筆使いを たしかめよう	「結び」	ア・ウ			毛3
		P22-23	3 平がなの筆使いを たしかめよう	漢字とかなの大きさ、配列(行の中心と字間)	イ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)		硬2
	11	P24-25	4 文字の大きさと 配列を考えて書こう	文章を読みやすく書くために 〈国語〉	ア・イ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)	B(1)ウ・オ(2)ウ	硬1～2
P26-27		4 文字の大きさと 配列を考えて書こう		漢字どうしの大きさ	イ・ウ	ウ(イ)		毛2～3
1-3	P28-31 P32-33	5 学習したことを 生かして書こう	書きぞめ 四年生のまとめ	ア・イ・ウ	イ(イ)(ウ), ウ(イ)		毛3～5 硬0～2	
		5 学習したことを 生かして書こう	書きぞめ	ア・イ・ウ	ウ(イ)		毛3	
適宜	P34-35	しりょう	手紙の書き方／はがきの表書き／げんこう 用紙の使い方	ア・イ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)	B(1)ウ・オ(2)エ	適宜	
	P36-37		新聞を読みやすく書く工夫／横書きの書き 方	ア・イ	イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ)	B(1)ウ・オ(2)イ		
	P38-39		平がな／かたかな／ローマ字	ア				
	P40-41		三年生で学習した漢字／字形の整え方	ア	ウ(イ)			
	P42-44		四年生で学習する漢字	ア・ウ	ウ(イ)			
3	P49		「もっと知りたい」紙・すみ・すずりができるまで	ウ			毛1	

学習指導要領の内容（第3・4学年） ※該当箇所抜粋

B 書くこと	(1)指導事項	ウ 書くこととするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や字例を挙げて書くこと。 オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。
	(2)言語活動例	イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。 ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。 エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	(イ) 漢字と仮名を用いた表記などに関心をもつこと。 (ウ) 送り仮名に注意して書き、また、活用についての意識をもつこと。 (エ) 句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと。
	(1)ウ 文字に関する事項	(ア) 第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。 (イ) 第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 (ウ) 漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。
	(2)書写に関する事項	ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。 イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。

年間指導計画 4年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	書写で学習したことは、どんな 場面で生かせるかな[教科書 巻頭] ◎書写学習を生かせる場面を考え、書写学習への関心を高めることができる。[伝国(2)ア・イ]	適宜	1「書写で学習したことは、どんな場面で生かせるかな」を見て、書写で学習したことを生かせる場面を話し合う。 2 1年間の学習内容や学習の進め方を知る。	【関】書写学習への関心を高めている。 【知】書写学習が生かせる場面を理解している。
	学習の進め方 [教科書P2-3] ◎書写の学習の進め方を理解することができる。[伝国(2)ア・イ・ウ]		1学習の進め方を知る。 2 用具の準備や片付けの仕方を確かめる。	【関】学習の進め方を知り、書写学習への意欲を高めている。 【知】書写の学習の進め方を理解している。
	書くときのしせい／筆の持ち方 [教科書P4-5] ◎毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を確かめることができる。[伝国(2)ウ]		1毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2筆の持ち方を確かめる。	【関】書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしようとしている。 【知】書くときの姿勢や筆の持ち方を理解している。
	点画の種類 [教科書P6-7] ◎点画の種類を確認し、穂先の向きと筆圧に気を付けて書くことができる。[伝国(2)ウ]		1点画の種類と名称と筆使いを確かめ、手で空書きする。 2穂先の向きと筆圧に気を付けて、3年生で学習した点画を毛筆で書く。	【関】穂先の向きと筆圧に気を付けて書こうとしている。 【知】点画の名称と筆使いを理解している。 【技】穂先の向きと筆圧に気を付けて書いている。
1. 筆順と字形の関係を考えよう				
5月	筆順と字形1 [教科書P8-9] ◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・ウ]	毛筆 3～4	1「左」「右」それぞれの横画と左払いを指でなぞり、筆順と字形の関係を話し合う。 2筆順によって、画の長さが変わることがあることを知る。 3「左右」の筆順と字形の関係を確かめる。 4筆順と字形の関係を気に付けて、毛筆で「左右」を書く。 5毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く。	【関】筆順と字形の関係を進んで考えようとしている。 【知】筆順によって、画の長さが変わることがあることを理解している。 【技】筆順と字形の関係を気に付けて、正しく書いている。
	筆順と字形2 [教科書P10] ◎正しい筆順で、字形を整えて書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア]	硬筆 1～2	1正しい筆順で書くと、字形を整えやすいことを知る。 2筆順と字形に気を付けて、硬筆で漢字を書く。	【関】正しい筆順で、字形を整えて書こうとしている。 【知】正しい筆順を理解している。 【技】正しい筆順で、字形を整えて書いている。
6月	筆順と画の付き方1 [教科書P11] ◎筆順と画の始筆の付き方を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア]	硬筆 1～2	1「原」と「皮」を見て、筆順と画の始筆の付き方の違いを話し合う。 2画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを知る。 3学習したことを生かして、硬筆で言葉を書く。	【関】筆順と画の始筆の付き方の関係を進んで考えようとしている。 【知】画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを理解している。 【技】筆順と画の始筆の付き方に気を付けて書いている。
	筆順と画の付き方2 [教科書P12-13] ◎筆順と画の終筆の付き方を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・ウ]	毛筆 2～3	1「口・中・田・国」を見て、画の終筆の付き方の違いを話し合う。 2折れの後すぐに横画を書く場合と、折れと横画を続けて書かない場合で、画の終筆の付き方が変わることを知る。 3P12下段の問題を解いて、「虫」を書くときの画の終筆の付き方を確かめる。 4右上に払う画の書き方を確かめ、筆順と画の付き方に気を付けて、毛筆で「虫」を書く。 5毛筆の学習を生かして、硬筆で漢字を書く。	【関】筆順と画の終筆の付き方の関係を進んで考えようとしている。 【知】筆順によって画の付き方が変わることがあることを理解している。 【技】筆順と画の終筆の付き方に気を付けて書いている。
2. 漢字の組み立てをを考えて書こう				
7月	部分の組み立て方(左右) [教科書P14-15] ◎左右の部分の組み立て方を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ)(ウ), (2)ア・ウ]	毛筆 3	1「土」と「つちへん」の違いを話し合う。 2左右の部分の組み立て方を知る。 3「地」の部分の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4左右の部分の組み立て方に気を付けて、毛筆で「地」を書く。 5毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く。	【関】「土」と「つちへん」の違いを進んで見つけようとしている。 【知】左右の部分の組み立て方を理解している。 【技】左右の部分の組み立て方に気を付けて書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
9月	部分の組み立て方（「かまえ」「たれ）」 [教科書P16-17] ◎「かまえ」や「たれ」と、中の部分の組み立て方を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ)(ウ), (2)ア・ウ]	毛筆 2	1 「もんがまえ」と「まだれ」の中に入る部分をシールで貼り、どうすれば字形が整うかを話し合う。 2 「かまえ」や「たれ」を部分に持つ漢字の組み立て方を知る。 3 「かまえ」や「たれ」と、中の部分の組み立て方に気を付けて、「もんがまえ」や「まだれ」のある漢字を毛筆や硬筆で書く。	【関】 「もんがまえ」や「まだれ」と、中の部分の組み立て方について進んで考えようとしている。 【知】 「かまえ」や「たれ」と、中の部分の組み立て方を理解している。 【技】 「かまえ」や「たれ」と、中の部分の組み立て方に気を付けて書いている。
	部分の組み立て方（上下） [教科書P18-19] ◎上下の部分の組み立て方を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ)(ウ), (2)ア・ウ]	毛筆 3	1 「雨」と「あめかんむり」の違いを話し合う。 2 上下の部分の組み立て方を知る。 3 「雲」の部分の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4 上下の部分の組み立て方に気を付けて、毛筆で「雲」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く。	【関】 「雨」と「あめかんむり」の違いを進んで見つけようとしている。 【知】 上下の部分の組み立て方を理解している。 【技】 上下の部分の組み立て方に気を付けて書いている。
10月	3. 平がなの筆使いをたしかめよう			
	「結び」 [教科書P20-21] ◎「結び」の筆使いを理解して書くことができる。[伝国(2)ア・ウ]	毛筆 3	1 墨の付いていない筆で横結びと縦結びをなぞり、平仮名の二つの結びの筆使いを知る。 2 「はす」の結びの形を確かめる。 3 結びの筆使いに気を付けて、毛筆で「はす」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く。	【関】 結びの筆使いに気を付けて書こうとしている。 【知】 結びの違いと筆使いを理解している。 【技】 結びの筆使いに気を付けて書いている。
11月	4. 文字の大きさと配列を考えて書こう			
	漢字とかなの大きさ、配列（行の中心と字間） [教科書P22-23] ◎漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）を理解して書くことができる。[伝国(1)イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ), (2)イ]	硬筆 2	1 二つの「お月見の会」と「遊びに来てください。」を見て、文や文章を読みやすく書くポイントを話し合う。 2 漢字を大きめに、平仮名を小さめに書くと、読みやすくなることを知る。 3 行の中心を揃え、字間を同じくらい空けて書くと、読みやすくなることを知る。 4 漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に気を付けて、硬筆で文章を書く。	【関】 文や文章を読みやすく書くポイントを進んで見つけようとしている。 【知】 漢字と仮名の大きさ、配列について理解している。 【技】 漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に気を付けて書いている。
12月	文章を読みやすく書くために〈国語〉 [教科書P24-25] ◎文字の大きさや配列などに気を付けて、読みやすく書くことができる。[伝国(1)イ(イ)(ウ)(エ), ウ(イ), (2)ア・イ] ○クラブ活動について説明するリーフレットを作ることができる。[B(1)ウ・オ, (2)ウ]	硬筆 1～2	1 教科書の例を見て、読みやすい文字の大きさや配列について確かめる。 2 クラブ活動について説明する文章を考える。 3 文字の大きさや配列に気を付けて、リーフレットを書く。	【関】 文字の大きさや配列などに気を付けて、読みやすく書こうとしている。 【知】 読みやすい文字の大きさや配列について理解している。 【技】 文字の大きさや配列などに気を付けて、読みやすく書いている。
	漢字どうしの大きさ [教科書P26-27] ◎漢字どうしの大きさを理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)イ・ウ]	毛筆 2～3	1 二つの「白神山地」を見て、漢字を並べて書くときの文字の大きさについて話し合う。 2 漢字を並べて書くときは、画数の少ない漢字や周りが線で囲まれている漢字は小さめに書くと読みやすくなることを知る。 3 「白鳥」の外形をなぞって、文字の大きさを確かめる。 4 漢字どうしの大きさに気を付けて、毛筆で「白鳥」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、硬筆で言葉を書く。	【関】 漢字を並べて書くときの文字の大きさについて、進んで考えようとしている。 【知】 漢字どうしの大きさのバランスを理解している。 【技】 漢字どうしの大きさに気を付けて書いている。
1月	5. 学習したことを生かして書こう			
	書きぞめ [教科書P28-31・P48-45] ◎これまでに学習したことに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(イ)(ウ), ウ(イ), (2)ア・イ・ウ]	毛筆 3～5 ・ 硬筆 0～2	1 「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確かめる。 2 これまでに学習したことに気を付けて、毛筆で「出発」や「流れる星」を書く。 3 これまでに学習したことに気を付けて、硬筆で「田子のうらに…」を書く。	【関】 これまでに学習したことに気を付けて、意欲的に書こうとしている。 【知】 これまでに学習したことを理解している。 【技】 これまでに学習したことに気を付けて書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
2月 3月	四年生のまとめ [教科書P32-33] ◎これまでに学習したことを確かめ、めあてを決めて書くことができる。[伝国(1)イ(イ)(ウ),ウ(イ),(2)ア・イ・ウ]	毛筆 3	1 4年生で学習したことを確かめ、「知る」を書くときに生かせることを話し合う。 2 「知る」を書くときのめあてを決め、めあてに気を付けて毛筆で書く。	【関】 自分のめあてを決め、意欲的に書こうとしている。 【知】 4年生で学習したことを理解している。 【技】 自分の決めためあてに気を付けて書いている。
適宜	しりょう			
	手紙の書き方／はがきの表書き／げんこう用紙の使い方 [教科書P34-35] ◎手紙の書き方、はがきの表書き、原稿用紙の使い方を確かめ、文字の大きさや書き出しの位置などに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(ウ)(エ),ウ(イ),(2)ア・イ] ○目的に合わせて手紙を書くことができる。[B(1)ウ・オ,(2)エ]	適宜	1 手紙文の型を確かめる。 2 便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙それぞれに書くときの文字の大きさや配列などを確かめて書く。	【関】 手紙の書き方、はがきの表書き、原稿用紙の使い方を確かめて、生活に生かそうとしている。 【知】 手紙の書き方、はがきの表書き、原稿用紙の使い方を理解している。 【技】 文字の大きさや配列などに気を付けて書いている。
	新聞を読みやすく書く工夫／横書きの書き方 [教科書P36-37] ◎新聞を読みやすく書く工夫、横書きの書き方を確かめることができる。[伝国(1)イ(イ)(ウ)(エ),ウ(イ),(2)ア・イ] ○調べたことを新聞に表すことができる。[B(1)ウ・オ,(2)イ]		1 新聞を読みやすく書く工夫、棒グラフの書き方を確かめる。 2 横書きの書き方を確かめる。	【関】 新聞を読みやすく書く工夫、横書きの書き方を確かめて、生活に生かそうとしている。 【技】 新聞を読みやすく書く工夫、横書きの書き方を理解して書いている。
	平がな／かたかな／ローマ字 [教科書P38-39] ◎平仮名・片仮名・ローマ字の書き方を確かめることができる。[伝国(2)ア]		1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の文字の高さと位置などを確かめる。	【関】 平仮名・片仮名・ローマ字の書き方を確かめて書こうとしている。 【技】 平仮名・片仮名・ローマ字の書き方を確かめて書いている。
適宜	三年生で学習した漢字／字形の整え方 [教科書P40-41] ◎3年生で学習した漢字と字形の整え方を確かめることができる。[伝国(1)ウ(イ),(2)ア]	適宜	1 3年生で学習した漢字の筆順や字形の整え方を確かめる。	【関】 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書こうとしている。 【技】 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書いている。
	四年生で学習する漢字 [教科書P42-44] ◎4年生で学習する漢字を確かめることができる。[伝国(1)ウ(イ),(2)ア・ウ]		1 4年生で学習する漢字の筆順や字形の整え方を確かめる。	【関】 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書こうとしている。 【技】 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書いている。
3月	【もっと知りたい】紙・すみ・すずりができるまで [教科書P49] ◎紙・墨・硯の作り方を知り、用具や毛筆学習への関心を高めることができる。[伝国(2)ウ]	毛筆 1	1 P49の写真や説明を見て、紙・墨・硯の材料や作り方を知る。	【関】 紙・墨・硯の材料や作り方に興味をもち、用具や毛筆学習への関心を高めている。 【知】 紙・墨・硯の作り方や材料を理解している。